

会報 よろこび

第73号

発行 茨城よろこびの会

<http://www.ibasouken.org/yorokobi.html>

平成 25 年 7 月 1 日発行



平成 25 年度 総会



照沼 秀也先生



安島名誉会長（写真右）

平成 25 年度茨城よろこびの会総会を終えて

会長 飯田 則子

新緑の樹々に囲まれた茨城県立健康プラザに於いて、5月25日（土）、平成25年度茨城よろこびの会総会が開催されました。会員出席者28名、事務局（茨城県総合健診協会）からは、経営企画室次長 戸田 一男氏、同主事 塩澤 宏典氏の2名が出席しました。会員の活発な質疑が続くなか、安島 光二名誉会長夫妻がお出でになりました。安島名誉会長は欠席の予定でしたが、急遽奥様の運転で来られたそうです。いつも会に心を寄せて下さっているお気持ちを嬉しく思いました。

議事については、平成24年度事業報告、同年度会計報告が承認され、平成25年度事業計画では、茨城県立中央病院の県政出前講座として、8月8日（木）に「高齢者の介護について」、10月10日（木）「がん診療・治療・緩和ケアについて」をどちらも赤塚駅北口ミオスビルにて行います。以上2つの行事が決まっております。役員につきましては新幹事として、飯塚 順子さん、高橋 司さん、秋元 京子さんの3名が就任されました。少々、時間延長となりましたが、議事は滞りなく終了いたしました。

その後は、顧問の照沼 秀也先生のご講演をいただきました。テーマは『iPS細胞の小児白血病と大腸がんへの応用の研究について』、『樹状細胞ワクチンのメカニズムと現状について』、『脱メチル化（※）する3つの生活術』についてです。脱メチル化3つの生活術とは…

1. 抗酸化の野菜摂取
2. 睡眠は8時間
3. 水は活性水素水（ナノバブルを多く含む）

が大切だそうです。丁寧な分かりやすいご講演ありがとうございました。

25年度も会員の要望に沿い、数々の行事を行って参りたいと思います。今後ともご協力の程お願い申し上げます。

※（DNA の）メチル化・・・DNA を構成する塩基の1つ「シトシン」のメチル基という化学構造がつく変化を指す。がんの細胞を採取すると DNA のメチル化に異常があることが分かっています。がんは、がん抑制遺伝子の働きによって防がれているが、メチル化異常によってがん抑制遺伝子が働かなくなり、発がんするケースもあります。